

レクチャー 2.25

大阪でアーツカウンシルを考える会 『考えるための勉強会 Vol.8』

[トップ](#) >> [イベント](#) >> [大阪でアーツカウンシルを考える会『考えるための勉強会 Vol.8』](#)

大阪でアーツカウンシルを考える会+大阪府立江之子島文化芸術創造センター | 学びと情報共有の場
 『考えるための勉強会 Vol.8』
 テーマ『どうする、大阪アーツカウンシル』

昨年度は、民間版（アーツサポート関西、大島賛都氏）、沖縄版（杉浦幹男氏）、青森市版（立木祥一郎氏）の各アーツカウンシルの関係者をお招きし、仕組みとその特徴についてお話を伺いました。今年度は、日本のアーツカウンシルの特徴でもある「基礎自治体」を単位にしたアーツカウンシルの可能性について勉強してみたいと思います。

今回のテーマは、「どうする、大阪アーツカウンシル」です。大阪でアーツカウンシルを考える会は、大阪にどのようなアーツカウンシルがあったらいいかを考えてきました。

今年度最終回となる考える会では、ゲストに大阪アーツカウンシル統括責任者の佐藤千晴さんをお招きし、お話を伺います。

そして、大阪におけるアーツカウンシルについて、ご参加のみなさまとともに対話を重ねられればと思っております。

たくさんの方のご参加をお待ちしております。

日 時 | 2016年2月25日（木）19:00～21:00

ゲスト | 佐藤千晴（大阪アーツカウンシル統括責任者）

入場料 | 無料（よろしければ会への寄付をお願いします）

会 場 | enoco2Fルーム8

問合せ | 大阪でアーツカウンシルを考える会事務局

think-ac[at]osaka.arts-npo.org

*[at]を@に変換して送信してください。

主 催 大阪でアーツカウンシルを考える会

共 催 大阪府立江之子島文化芸術創造センター | enoco

助 成 おおさか創造千島財団

【プロフィール】

佐藤千晴

1962年東京生まれ。12歳から千葉育ち。早稲田大学第一文学部社会学専修卒。85年に朝日新聞社に入社、徳島支局を振り出しに大阪本社学芸部（現・生活文化部）などに勤務。途中96年から2001年まで東京本社学芸部・電子電波メディア局で働いたが、記者活動のベースは大阪。文化、特にクラシック音楽や宝塚歌劇がメインフィールドだった。2013年4月に退社、同年6月、大阪アーツカウンシル統括責任者に就任。

サイトポリシー・
 プライバシーポリシー

指定管理者

バナー広告募集

> enocoについて

> 事業紹介

> フロアガイド

> レンタルスペース

> お知らせ・プレスリリース

> メルマガ登録

> ニュースレター

> お問い合わせ

> アクセス

ツイート

